

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
1	SNSやスマホアプリを活用して、市外の方に対して府中市の魅力を発信する取組を推進してほしい。 また、府中市の魅力をどのように考えているか教えてください。	公式TwitterやInstagramを活用した情報発信に取り組んでいますが、まだ、皆様に広く認識していただけるまでには至っていないのではないかと痛感しました。また、発信する機会をもっと増やし、デジタルツールを活用して府中市の魅力を知っていただけるよう取り組んでいきたい。 本市の魅力としては、歴史・文化・水と緑、また、お祭りや行事が充実していることだと考えていますし、これらにお手伝いをしていただける方をぜひ多く募集していきたいと考えています。	広報課 観光プロモーション課
2	市のホームページに様々な手続きの申請書をダウンロードできるように掲載してほしい。 市役所の窓口では、待ち時間をスマートフォンに表示するツールなどを導入すると、混雑緩和につながったり、市民の皆様が効率的に時間を使うことができると思う。	同様の意見を他の場でもいただきました。病院などでは、待ち時間が分かるようなシステムが導入されていたり、取り入れることができそうなツールが開発されていますので、職員の業務効率化の観点からも検討していきたい。	情報管理課
3	デジタル化は必要である一方、高齢の方への配慮も同時に考える必要があると思います。市長の考えを教えてください。	デジタル化を強制的に進めようとしても、対応することが難しい方もいらっしゃると思いますので、配慮することは重要です。新型コロナワクチン接種の予約やふちゅちけの対応においても、デジタルに慣れていただくために、一人ひとりをサポートする体制の充実が必要だと思います。	—
4	ごみの収集日の確認や排出方法をLINEやTwitterを活用して調べることが出来ると利便性が高くなるので、検討してほしい。	問合せなどをする際にも電話を利用する機会が減ってきていると思いますので、出来るだけ早く取り入れていかなければならない仕組みだと考えています。	政策課 ごみ減量推進課

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
5	市のホームページは、情報量が多く、充実している一方、YouTubeなどの動画サービスを利用する方も増えていることから、情報を伝える手段として、動画を積極的に活用することで、更に充実したホームページになると思う。	動画は、伝えることができる情報量が文字や写真に比べ多いと思いますので、今後、より取り入れられるようにしていきたい。例えば、台風が接近してきている時などの災害が迫っている時などの活用も検討していきたい。	各課
6	市長の公務日程を拝見しましたが、文字が多く、公務の様子をイメージしにくいいため、市長の公務の様子を動画で公開すると、市政に関心を持つ市民が増えると思う。	私の公務の様子を動画にすることで、市長の仕事が皆様により理解していただけるのであれば嬉しく思うし、私の仕事のスキルアップや市民の皆様の暮らしやすさの向上につながるのであれば、取り入れていきたいと思う。 一方、公職選挙法についても確認が必要だと思えます。	秘書課
7	市のホームページは、情報量が多すぎるため、見たいコンテンツを表示するまでに時間を要することから、見る気力が損なわれてしまうと思います。	同様のご意見を他の方からもいただいています。市民の皆様がお知りになりたい情報は千差万別であるため、情報量が増えてしまっておりますが、閲覧しやすいホームページの構成は考えていかなければならない課題として認識しております。	広報課
8	車両の利用頻度を減少させ、大気汚染の改善に資するため、自転車の無償貸出をデジタル化を含め実現させることや、自転車の購入費の助成を行ってほしい。	環境問題は、世界的な問題である一方、一人ひとりが取り組まなければならない問題でもあり、基礎自治体が果たすべき役割は大きいと考えています。市内には、シェアサイクル「のりすけ」の取組はありますが、更に発展できると良いと思います。	産業振興課
9	選挙の投票率の低さが課題として取り上げられております。デジタル選挙について、市長の考えを教えてください。	このたびの衆議院議員選挙についても、市内の投票率は、約58%であったことから、投票率の向上は課題として認識しております。デジタル選挙が実現すると、投票の利便性の向上が期待できる一方、不正投票への対応を含め、国として研究が必要であろうと考えております。	選挙管理委員会事務局

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
10	多くの方がスマートフォンを所有しているため、身分証明についてもスマートフォンに実装できると利便性が向上するので、検討して欲しい。	最近では、ワクチンの接種証明の電子化が可能になったように、今後も進んでいくと思います。また、同時に個人情報保護や情報セキュリティ対策の向上も必要だと思います。	—
11	中学生や高校生からボランティアを募り、高齢の方など、デジタル化に対応することが難しい方のために、講習会を実施するなど、支援体制を整えてほしい。サポート体制があることでスマートフォンを新たに使う人も増えると思う。	スマートフォンを使った経験の無い方でも慣れていただければ、便利に使うことができる方も多いと思います。市内の文化センターには、高齢者の方が集まるサロンなどの地域のつながりがあるため、このような場所でスマートフォンの講習会を実施しても良いと思う。	地域コミュニティ課 地域福祉推進課
12	市の公式SNSアカウントの存在を知らない方もいると思いますので、市のホームページに公式SNSをPRするコンテンツを作ると良いと思います。 また、市のホームページは、緑色が強いと思うので、見やすさに配慮してほしい。	市のホームページには、SNSアカウントを取りまとめて紹介するコンテンツが無いので、作成してPRしていきたい。 市のホームページは緑を基調としていますが、濃淡は検討していきたい。	広報課
13	清瀬市では、駅の施設に、市のホームページにつながるQRコードが掲示されていたり、特徴的なお店には、市のInstagramにつながるQRコードが掲示されていますので、府中市も実施すると、SNSで情報発信していることを知っていただくこともできると思うし、利用者も増えると思う。	他市の事例を調べて、参考にさせていただきます。	広報課 観光プロモーション課
14	バスケットゴールが設置されている公園を訪れると、年代が異なる方が利用されていて、仲間に入れてもらうことを躊躇してしまうことがあるため、普段、どのような年齢層の方が利用されている公園であるか可視化すると、利用者の利便性が向上し、同年代のコミュニケーションも図られると思う。	公園は、年齢などで分け隔てることなく、どなたでもご利用いただくことができる場所ですが、公園で出会った方々をつなぐ方策については、研究していきたいと思います。	公園緑地課
15	市内のお店や美容院など、段差等により車椅子で入ることが難しい場合があるため、バリアフリー対応している店舗等を可視化するツールがあると、市民の暮らしやすさの向上につながると思う。	障害などで移動に困難を伴う方にとって、生活しやすい環境づくりにつながる非常に重要な取組だと思います。市として、バリアフリーに対応できていない場所のご連絡をいただき対応することもあります。受け身ではなく、市内の状況を発信できる取組について研究していきたい。	産業振興課 地域福祉推進課

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
16	例えば、郷土の森博物館のような市内の魅力のある施設について、市外の方の認知度は高くないと思うため、市として市外の方へのPRに力を入れてほしい。	郷土の森公園は、市の歴史・文化を発信する施設であり、梅の時期には、テレビ局で取り上げていただくこともあり、市内外に誇れる施設だと思っています。市内の魅力ある施設等について、世界に発信するよう取り組んでいきたい。	観光プロモーション課 ふるさと文化財課
17	国分寺市や府中市には、史跡が多く残っており、実際に訪れると、石碑などの史跡の解説が掲示されていますが、日本語のみで、漢字も多く、外国人には分からないと思われるため、QRコードを掲示し、スマートフォンをかざすと多言語翻訳されるような仕組みを備えると、コロナ禍が終息した際は、来訪者も増えると思う。	国分寺市と府中市には、史跡が多く残っており、観光連絡協議会を設け、共に連携してPRを行っています。確かに史跡の解説は日本語であるため、QRコードをスマホにかざすと翻訳できるような機能をご用意できるように国分寺市とも相談して取り組んでいきたい。	観光プロモーション課 ふるさと文化財課
18	府中駅前には、フリーWi-Fiが整備されていますが、場所によっては、速度が遅いため、点検してほしい。	ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックを迎えるに当たり、府中駅前にWi-Fiを整備しました。整備後、数年が経過していますので、改めて、速度やカバーエリアを確認します。	情報管理課
19	SNSを活用した市のPRについて、有名人などのインフルエンサーの方に協力してもらうことで、効果的なPRができると思う。	本市では、市に所縁のあるタレントや歌手、漫画家などの方々に、観光大使として市のPRをお願いさせていただいていますので、SNSでの発信にもご協力いただくことも考えていきたい。	観光プロモーション課
20	デジタル化に賛成する意見もある一方、デジタル監視社会に対する不安の声も聞こえるため、市長としてデジタル化をどう心得ているか教えてほしい。	ありとあらゆる分野でデジタル化を進めなければならないとは考えておらず、個人情報やプライバシーの配慮などの安全確保も十分に行う必要があると考えています。しかし、進めるべきところは進めないと、逆に市民の皆様にご迷惑をおかけすることになりますので、来年度以降、行政の効率化の観点などのデジタル化は積極的に進めていきたい。	—

市長と語る会(令和3年11月2日 明星高等学校)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
21	<p>走行する車に次に通過予定の信号機の状況を表示させる「信号情報活用運転支援システム(TSPS)」は、不要な加速等を防ぎ、エコドライブによるCO2削減に役立つため、市内の信号機に積極的に導入してほしい。</p>	<p>交通渋滞の抑制や交通事故の防止、環境改善などに資する仕組みであるため、府中警察署にもご提案を伝え、導入するチャンスがあれば、積極的に取り組んでいきたい。</p>	<p>地域安全対策課</p>
22	<p>人間の動きと連動する分身ロボットが開発されています。分身ロボットは、例えば、下半身に障害をお持ちの方であっても、ロボットが動き、レストランで接客の仕事ができるなど、様々な分野で導入が期待されています。多様な方が社会参加するきっかけとなる仕組みだと思しますので、府中市でも導入を検討してほしい。</p>	<p>介護の現場などで、ロボットの導入は進んでいるものと思いますが、日常生活での活用はあまり見られていないと思います。先進事例として、取り組めると良いと思いますので、研究していきたい。</p>	<p>情報管理課</p>